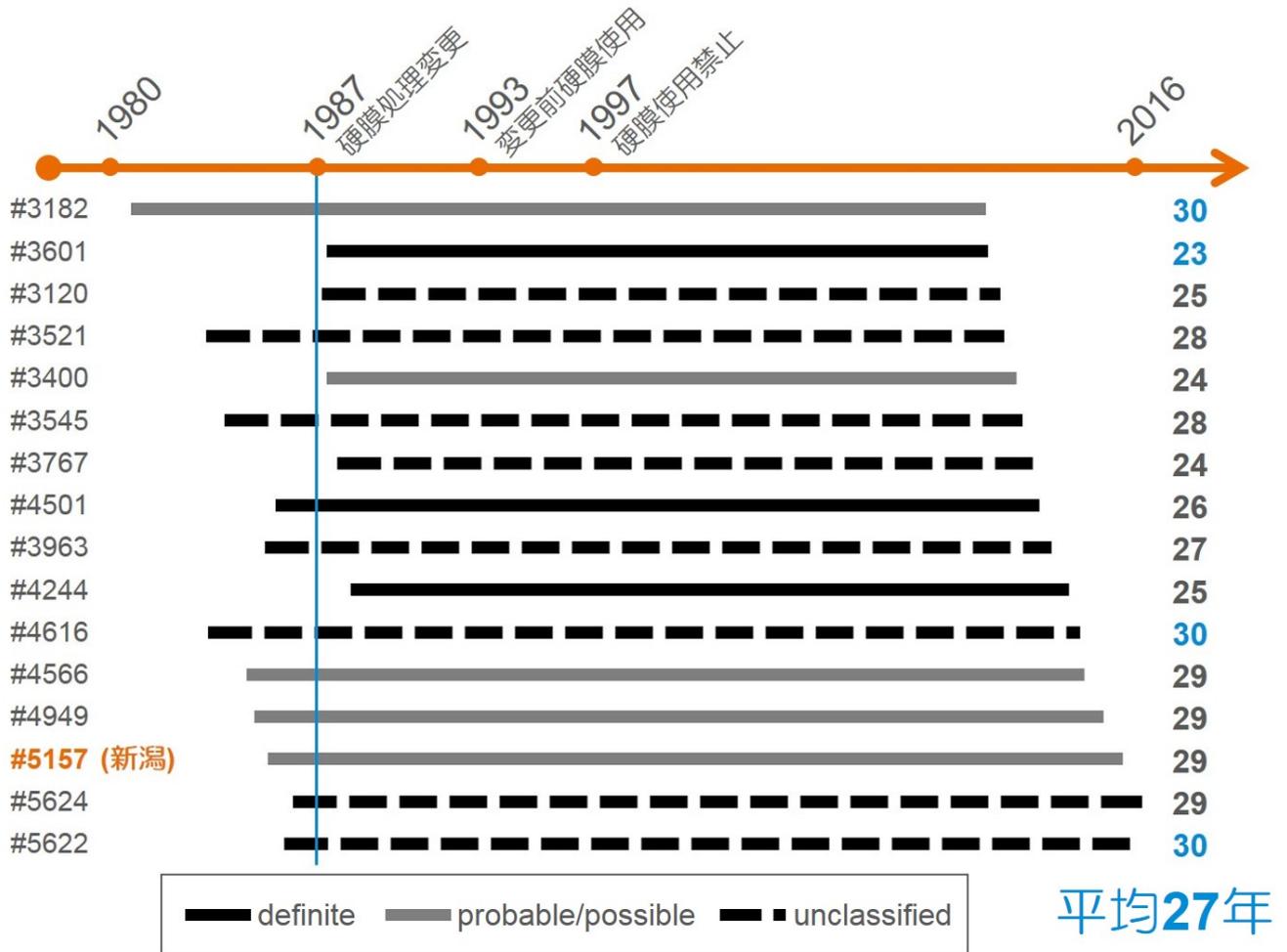


## 硬膜移植後30年近く経過した後に CJDを発症する症例が存在する

研究分担者:新潟大学脳研究所 小野寺理

直近4年間のサーベイランス委員会でdCJDが疑われた16例の潜伏期間



### 解説

1. 新潟県で、硬膜移植の29年後に小脳性運動失調で発症したdCJDの36歳女性例を経験した(サーベイランス#5157)。
2. 1997年に屍体硬膜の使用が禁止されたが、潜伏期間が30年と長期におよぶことがあるため、2027年頃まではdCJDが発生する可能性がある。